



新宿区

賑わい都市新宿の創造
東京オリンピック・パラリンピック関連事業

平成28年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成28年2月17日(水)

事業名	スポーツ環境の整備	予算(案)の概要	102 153	ページ
予算額	10,879千円 (新規・拡充・継続) (前年度予算額 3,660千円)			
取材先	地域文化部生涯学習コミュニティ課長 山本 (電話 03-5273-3108)			

1 スポーツコミュニティの推進

●スポーツの普及啓発(新規)

成人がスポーツを楽しめる場や機会の創出 (予算額 1,080千円)

日常生活の中で、スポーツを取り入れる環境作りを推進します。自分だけで取り組むスポーツ、家族一緒にできるスポーツなど、自分のライフスタイルにあったスポーツを見つけ、継続して実施できるような機会を提供していきます。

【H28の取組み】

自分のライフスタイルにあったスポーツを紹介・体験できるイベントを実施
★成人向けスポーツ体験 1,080千円



高齢者がスポーツを楽しめる場や機会の創出 (予算額 648千円)

体育館などの大きな場所を必要としない手軽にできるスポーツの推進を行います。いきいき体操などいつでもどこでもできる自分に合ったスポーツを見つけ、継続的なスポーツ活動ができるようにしていきます。

【H28の取組み】

手軽にできる高齢者向けスポーツを紹介・体験できるイベントを実施
★高齢者向けスポーツ体験 648千円



障害者がスポーツを楽しめる場や機会の創出 (予算額 1,611千円)

パラリンピック正式競技である「ボッチャ」「ゴールボール」の普及を行いながら、障害のあるなしに関わらず、区民のスポーツ実施率を高めると同時にオリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成を図ります。

【ボッチャ】

ヨーロッパで生まれた重度脳性まひ者若しくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツ。

【ゴールボール】

第二次世界大戦で視覚に傷害を受けた傷痍軍人のリハビリテーションの効果を促進するために考案されたリハビリテーションプログラムの一つ。

【H28の取組み】

体験教室及び指導者養成講座の開催

★ボッチャ・ゴールボール体験教室・指導員養成講座 1,611千円



●オリンピック・パラリンピック気運醸成(拡充)

スポーツを体験するだけでなく、応援する楽しさも体験! (予算額 4,240千円)

トップアスリートが所属する企業チーム等の練習会場として、区内スポーツ施設を提供し、区民が見学可能な「公開練習及び体験会」を実施します。練習の見学だけでなく、トップアスリートの直接指導による体験会を併せて実施することで、トップアスリートのすごさを肌で感じ、競技を応援する気持ちを高めていきます。

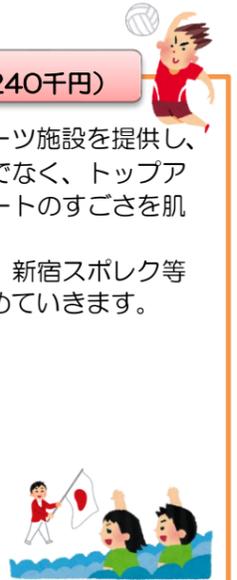
また、オリンピック・パラリンピックの興味・関心を高めていくために、新宿スポレク等の中でも継続的に事業を実施し、2020年に向けて、区民の気運醸成を高めていきます。

【H28の取組み】

オリンピック・パラリンピックの正式競技の公開練習及び体験会の実施
競技種目を紹介するパンフレット及びパネルの作成展示

- ★トップアスリート練習見学・体験会 2,600千円
- ★パラリンピック開催予定競技の啓発活動 1,280千円
- ★新宿スポレクにおける体験会・講演会等 360千円

※【予算事業】新宿未来創造財団運営助成



●スポーツ体験支援(継続)

子どもがスポーツを楽しめる場や機会の創出 (予算額 3,300千円)

<新宿スポーツ環境推進プロジェクト>

スポーツの持つ多面的な価値を活かし、子どもたちの持つ可能性を広げる機会を創出できるように、新宿区協働事業提案制度により採択され、一般社団法人地域スポーツ推進クラブCriacao(クリアソン)と区が協働で、平成27年度から実施しています。

【H28の取組み】

プロフェッショナルなアスリート、指導者によるスポーツ体験教室・セミナーの開催

★新宿スポーツ環境推進プロジェクト 3,300千円

※【予算事業】スポーツ体験支援



2 総合運動場の整備(継続)

戸山公園箱根山地区多目的運動広場について、利用者ニーズを踏まえた、より快適で、他種目・多目的に使用できる総合的な多目的運動広場としての整備検討を行い、東京都へ積極的な働きかけを行っていきます。

※予算計上なし